

## 式 辞

柔らかなぬくもりに包まれ、花や緑があふれ、春らしさが一段と増してきたこの佳き日に、希望に満ちた新入生の皆さんを迎えることができ、学校長として慶びに耐えません。ただいま、入学を許可いたしました166名の新入生の皆さん、入学おめでとうございました。本校への入学を心より歓迎いたします。

本校は、昭和3年に東京都立第三商業学校として設立され、昭和25年に現在の校名に改称し、令和9年に創立100周年を迎える伝統校です。共通教科による基礎的・基本的な学習や、商業高校特有の資格取得を基礎としたキャリア形成学習に加え、ビジネスに関する学習で培った知識・技術を基に、高校生の視点でビジネスを考え、動かし、変えていくことができる生徒の育成を図っています。

さて、今日は、皆さんを本校に迎えるにあたり、期待することを二点お話しし、お祝いの言葉としたいと思います。

一つ目は、自分の殻を破って、さまざまなことにチャレンジすることです。自分の殻とは、思い込み、先入観、偏見、固定観念、恐怖心などのことを指します。皆さんも本当はやってみたいと思っていたことでも、「自分にはどうせできないだろう」と諦めてしまったり、「失敗したらそれに費やした時間や労力が無駄になるかもしれない」と自分に制限をかけてしまっていたことはないでしょうか。自分の殻を破ることで、新たなことに挑戦する喜びを感じたり、成長した新しい自分に出会えるはずです。

「成功は必ずしも約束されていないが、成長は必ず約束されている」と述べたのは、サッカー日本代表元監督のアルベルトザッケローニ氏の言葉です。もし失敗したらと不安になる気持ちは誰にでもあります。ただし確実に言えるのは、チャレンジしないと成功はありえないということと、チャレンジすること自体が、皆さん自身を成長させてくれるということです。

二つ目は、お互いの存在を認めあうことです。新しい環境に身を置き、皆さん一人一人が不安を感じていることと思います。慣れないことや感覚の違いに戸惑う場面もあると思いますが、何よりも大切なのは、互いに認め合い、思いやりを持って理解しようとすることです。自分の価値観を押し付けるだけでは真の相互理解はできません。

人には「自分さえよければいい」と考える利己の心と、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする利他の心があります。数年後には社会に出ていく皆さんは、どちらの心を身に付けるべきと考えるのでしょうか。他人のために何ができるのかを考えることは、「人間力」を高め、自分自身の成長へと繋げることができます。自分を大切に、人を大切に、自分に厳しく、人には温かく、皆が力を合わせ、「自信・自負・自尊心・自己肯定感」の心をもって前進してほしいと願っています。

結びに、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございました。お子様は、本校で学ぶことを決意され入学されました。お子様にとって貴重な青春の三年間は、自分の責任において将来の道筋を決める大切な時期となります。お子様が本校を巣立つときには、様々な経験を積み、大きな夢、理想、信念をもって社会を歩む人材となるようお育てして、お返

ししたいと存じます。

私たち教職員も、お子様がこの先の社会に必要な資質や能力を伸ばすことができるよう全力で指導・支援させていただきます。どうか、本校との連絡を密にさせていただくとともに、本校の教育に対しまして、ご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

令和の時代を担っていく新入生の皆さんが、今日の感激を胸に刻み、心身とも健康で明るく、夢に向かって学校生活を送れますよう心よりお祈りしまして、式辞といたします。

遭遇

令和7年4月8日

東京都立第三商業高等学校長

智片将也